

霧子の運命 (1962)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1962/05/27

【解説】

井上靖原作『春の雑木林』をもとに木下恵介が脚色し、川頭義郎が監督した異色ドラマ。

松本霧子は妾の子として生まれ、継母や祖父、義妹たちに疎まれていた。性格がひねくれた霧子は、学校でも先生や生徒にいじめられた。中学を卒業した霧子は温泉旅館の女中を経て、東京のバーで働くことになった。一年前から店に通うようになった宇佐見という男が、人を殺して金を奪ったと霧子のアパートに逃げ込んできた。宇佐見と一緒に死ぬことを決意した霧子は、石廊崎を自殺場所に決め、先に宇佐見を下田へ行かせた。自分は金を都合するため故郷へ帰るが、すでに村では霧子が殺人犯の情婦だという噂が立っていた。村人たちは村の名誉を汚した霧子を、自分たちの手で捕らえようと山狩りを始める。

【クレジット】

監督 川頭義郎

製作 白井昌夫

木下恵介

原作 井上靖

脚本 木下恵介

撮影 荒野諒一

美術 岡田要

音楽 木下忠司

出演 岡田茉莉子

吉田輝雄

田村高広

佐々木すみ江